

武蔵野銀行との「生物多様性保全に関する包括連携協定」締結について

～埼玉県におけるネイチャーポジティブ実現に向けて～



(左) 武蔵野銀行 長堀和正頭取
(右) 埼玉県生態系保護協会 池谷奉文会長

公益財団法人埼玉県生態系保護協会（会長 池谷 奉文）は、2024年5月31日（金）、武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）と「生物多様性保全に関する包括連携協定」を締結しましたので、お知らせします。

当協会と武蔵野銀行は、1992年以来、武蔵野のかけがえのない自然を守るためのマッチング寄付※1、自然豊かな美しいまちづくりのために行動できる行員を育成する「ぶぎん環境カレッジ」、新入行員対象の湿地の保全管理研修など、協働した取組みを積み重ねてきました。

このようななか、国内外では生物多様性保全に関する2030年目標の実現に向け取組みが活発化しており、埼玉県内においても自治体や事業者の皆さまと連携した取組みを一層加速させるため、金融機関として埼玉県の自然を守る活動に長年貢献してこられた武蔵野銀行との協定締結に至ったものです。

当協会は、本協定のもと、武蔵野銀行と連携し、持続可能な地域経済・社会の創出とネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を食い止め回復軌道に乗せること）の実現を目指し、積極的に取組んでまいります。

■協定に基づく主な連携事業

- ・武蔵野銀行の取引先企業や連携自治体、県民ほかへの、30by30※2の実現等に資する助言・事業提案
- ・自然環境の恵みを活かした同行従業員の健康増進支援 など

※1 むさしの自然環境保護口座（現在は取扱なし）

※2 生物多様性保全に関する2030年目標のひとつで、陸と海の30%以上を2030年までに健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

当協会は、国・埼玉県・市町村・企業・学校・市民など、多様な主体をつなぐブリッジセクターとして、豊かな自然と共存し子どもたちや将来世代の人々がいきいきと輝く、持続可能な地域づくりを担う専門団体です。財団法人化して40年目という節目の年を迎えました。